

令和4年度学校評価結果

○ 目指す学校像（基本方針） 「子供、保護者、地域に信頼される学校」づくりを目指す

領域	No.	評価項目	自己評価		学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいるか。	B	「かしこく ゆたかに たくましく」の学校教育目標を達成するために、教職員が一丸となり、組織的にそして積極的に教育活動に取り組んだ。 職員ほぼ全員が「概ねよい」以上の評価だった。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が誰にとっても楽しいところであることを願う。 ・学校教育目標をより積極的に広めたほうが良い。思う。(横断幕等) 次年度はコロナ明けが期待される中で以前のように地域に開かれた学校となれるように協力していきたい。
	2	PDCA サイクルのもと学級経営や教科経営・分掌経営にあたっているか。	B	実施した行事は、今後よりよくしていくために見直し・改善することを職員で共通理解し進めている。春の運動発表会は、次年度に向けて時程及び内容の検討を行っている状況である。	
学習指導	1	基礎・基本の定着を図るために児童の実態に基づいて授業改善(少人数指導・TT指導等)に努めているか。	B	病休職員に対する補充職員の確保が出来ず、また、出張等で担任が不在となったことにより補充を行っているため、授業改善が予定どおりに実施出来なかった。 引き続き、子供に「わかった・できた」を実感させる授業の工夫を行うとともに、少人数指導やTTでの指導、家庭学習で、基礎・基本の定着ができるように指導助言した。	<ul style="list-style-type: none"> ・展示掲示されている作品を見ると個性と表現力と実力がすばらしいと思う。 ・ITを使った授業はゲーム感覚で楽しく覚えられると良い。 ・良い考えがあってもその通りできない事があり、努力していることは理解できる。 ・子供に多くの本を読んで考える力を身に付けさせてほしい。 ・表現力を育成するためにどんな手立てがあり実際にどのように取り組んでいるのかをもっと発信してもらいたい。 ・何のために学ぶのか、今の学びが何につながるのか勉強の意味を子供たちにも理解してもらおうことは一つ理想と考える。
	2	児童に学習規律を身に付けさせ、学習成果を上げているか。	B	学習規律では「概ねよい」以上の評価が96%であった。継続して教育指導補助員を配置して個別に対応したり、落ち着いた話を聞いたりできることにより学習成果が上がるよう指導してきた。	
	3	学校課題「表現力」を身に付けた子供の育成に取り組むことができてきているか。	B	学校課題研究2年目となった。目指す児童像や「表現力」を育成するための手立てについて4回の研究授業を通して研究を進めることができた。今後も引き続き、取り組んでいく。	
生徒指導・教育相談	1	児童が進んで挨拶、正しい言葉遣いができるよう取り組んでいるか。	B	毎月定期的に朝の挨拶運動(代表委員会・各学級)の取組を行ってきた。挨拶や正しい言葉遣いについて今後も指導が必要状況であるので、引き続き取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より朝の子供のあいさつは、声が大きく元気なあいさつになっていると感じる。すばらしい。 ・あいさつや正しい言葉使いは家庭教育も大切。人との関係が多様にあって相手に対する敬意が育っていると自ら発するあいさつも言葉使いも気持ちの良いものになるだろうが、なかなか難しい。 ・陰に隠れた「いじめ」を
	2	日常観察や教育相談を通じて、いじめや不登校の早期発見、解消に努めているか。(いじめ防止法に係る評価)	B	いじめアンケートの結果などから心配な児童への対応を行ってきた。また、不登校や登校渋りの児童についても校内で情報共有したり関係機関と連携を図ったりしながら対応を進めている状況である。 職員が100%「概ねよい」とい	

				う評価に対し保護者からの評価は、94%にとどまっている。いじめ解消に向け、今後も組織的に取り組んでいく。	いかに察知するか、難しいことではあるが、対応をお願いする。
健康教育	1	児童の体力向上に向け、体育や体育朝会、外遊びの奨励等に積極的に取り組んでいるか。	A	体育朝会や縄跳び検定、朝マラソンの取組など、出来ることを工夫して行い、体力の向上を図った。今後は、他の教育活動とのバランスも考えながら実施について検討していく。	・休み時間等にグラウンドで元気に活動している児童が多く活発で明るい姿を見ることができてうれしく感じる。 ・運動が苦手な子供でも楽しく取り組める内容を期待する。
	2	児童に栄養のバランスのとれた食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めるようとしているか。	A	給食だよりの発行や毎日の給食をHPへ掲載して食に対する意識を高めた。また給食の時間に「今日の給食」について放送し、児童の栄養についての意識づけを行い、関心を高めることができた。	・給食は家では食べられない食材もみんな一緒なら食べられる。
学習環境	1	計画的・継続的に掲示物を整え、児童の学習環境を整えているか。	A	南校舎の図書室前の掲示板が積極的に活用できており、児童の豊かな感性の育成に繋がっている。また、教室掲示についても、学習コーナーを設けるなど、学校として共通の掲示を行い、児童が既習事項を確認しやすい環境を整えることにより児童の資質能力の育成に繋がっている。	・いつも掲示物がきれいに飾られている。色々なものを見て勉強になったり、癒されたりする。 ・掲示物などはいつも楽しく拝見している。決まったメンバーではなくたくさんの子供たちの作品が見られると良い。
	2	施設設備の点検を実施し、危険箇所の改修に努めているか。	A	月一回の安全点検と臨時の点検で、危険箇所について把握することができ、速やかな対応をとることができている。	・児童の作品を掲示することで子供たちの意欲の向上にもつながっていると感じる。
教職員の資質向上	1	校内等の研修を充実させ、教員一人一人の資質の向上を図っているか。	B	学校課題研究「表現力の育成」をテーマに2年目の取組を行い、4回の授業研究会を行った。市内小学校から指導者を招き、教職員の基礎研究及び指導力向上に向けた研修会を行った。	・教職員に活気がある気がする。 ・授業研究会や研修会について研修内容や成果、どのように日常の指導に反映させたのかなどを知りたい。
	2	教職員は、倫理確立委員会等を活用し、服務規律の向上に努めているか。	A	倫理確立委員会メンバーが順番に指導者となってボトムアップによる研修会を行い、教職員の服務規律の徹底と教職員事故防止の徹底を行った。職員の100%が「よくできている」「概ねできている」という評価であった。	・ICT機器の活用が進んでいると感じる。PCやディスプレイの活用は子供たちの理解にもつながっている。
家庭・地域との連携	1	学校だより、学年だより等で、保護者や地域に適切な情報発信をしているか。	A	学校だより、学年だよりの発行やホームページの更新により、学校の情報発信を行うことができた。職員の100%、保護者の96%がB評価以上の評価だった。情報メール登録98%。	・授業参観や懇談会が出来るようになって子供も嬉しい様子。感染防止対策をしながらの実施に感謝する。
	2	授業参観、家庭訪問や個人面談を適切に行っているか。	B	職員の100%、保護者の95%がB評価以上の評価だった。予定通りに授業参観や学級懇談会が出来ないこともあったが、一昨年度よりは、多く実施することができた。	・ホームページや情報メールの利活用について、より工夫することで情報発信できると思う。